

〔編集後記〕

愛知学院大学人間文化研究所紀要『人間文化』第三五号を無事刊行することができました。今回は論文八編、翻訳・訳注二編、プロジェクト研究一編のご寄稿をいただきました。春学期のお忙しいなかご執筆いただいた先生にはここから感謝いたします。また、本年度から人間文化研究所の事務を堀之内さんにしていただくことになりました。昨年度までたいへんお世話になった前任の見尾谷さん、編集作業の段取りをスムーズに進めていただいた新任の堀之内さんのお二人にも、この場を借りてお礼申し上げます。

今年に入ってから重大な出来事といえば、まちががなく新型コロナウイルスの感染拡大が挙げられます。一月ごろはまだ中国武漢を中心に猛威を振るうウイルス、といった海外のニュースだったのですが、三月になると、日本でも市中感染が拡大。全国の小中高は一斉休校、そして本学の卒業式、謝恩会も中止。四月には緊急事態宣言が出され、春学期は遠隔授業となりました。学生も教員も慣れないオンライン授業で四苦八苦する毎日でしたが、ようやく春学期も無事終わりを迎えることができました。

今回の新型コロナを含む感染症は、人類の歴史と密接な関係があり、人文学においても重要なテーマとなることでしょう。『人間文化』においても、人文学の学問的知見を生かした諸論文が掲載される日が来るかもしれません。まずは、新型コロナ騒動が一段落することを願うばかりです。

（伊藤雅之 記）

人間文化：愛知学院大学人間文化研究所紀要 第35号

令和2年9月10日印刷
令和2年9月20日発行
(非売品)

編集兼発行者
愛知学院大学人間文化研究所長 多門靖容

〒470-0195
愛知県日進市岩崎町阿良池12番地
電話 0561 (73) 1111 (内線1875番)

印刷所 株式会社 あるむ